

## 1. 豊田森林組合にとっての中期経営計画とは

豊田森林組合が作成する第2次中期経営計画は、第一次経営計画で設定した理念・ビジョンに基づき、森林組合経営者による今後3か年の組織の経営計画である。

策定にあたっては、「中期経営計画策定委員会」を設置した。  
※「重点施策」を「中期経営計画」として3年に1回見直す。

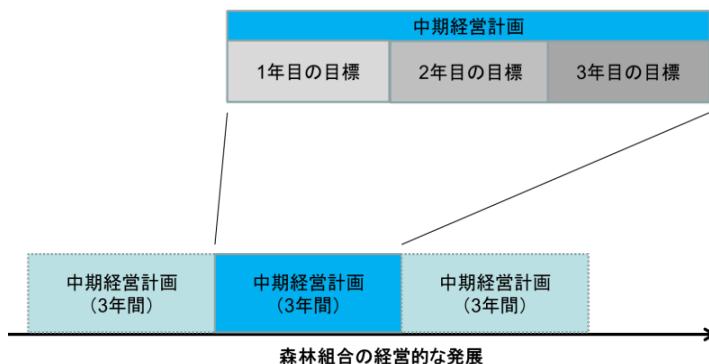


図 豊田森林組合における中期経営計画の考え方



中期経営計画策定委員会

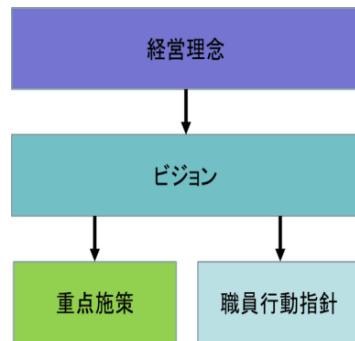


図 中期経営計画の構成

## 2. 豊田市の新しい動き第2次中期経営計画の重点施策の基本的な考え方

○豊田市に建設され、平成30年度から稼働開始する製材工場で発生する原木ニーズに対して、豊田森林組合として積極的に協力していく方針である。

○そのため、今後3年間に於いて計画的に素材生産量を増加させるという方針を設定し、新製材工場誘への原木供給の役割において全面協力するため、素材生産量の増加を核にした方向性を打ち出すこととした。

○ 過年度までの取り組みを継承、加速させることにより、**団地化面積を増加させ、素材生産量を増やすことにより、できるだけ多くの組合員へ良い森林管理のためのサービス提供と経済的還元とを目指す。**

表 豊田市による製材工場整備計画の概要

(A) 事業手法	・国産材の製材事業者を公募し誘致 ・市有地を貸し付け
(B) 想定規模	■敷地面積：25,000m <sup>2</sup> ～35,000m <sup>2</sup> ■原木取扱量：30,000m <sup>3</sup> ～50,000m <sup>3</sup> (市内集荷25,000m <sup>3</sup> を目標) ■従業者数：20人程度(工場のみ)
(C) 事業スケジュール	平成26年度 事業計画検討 平成27年度 公募、造成設計、集荷体制構築 平成28～29年度 造成工事、建築工事 平成30年度 稼働

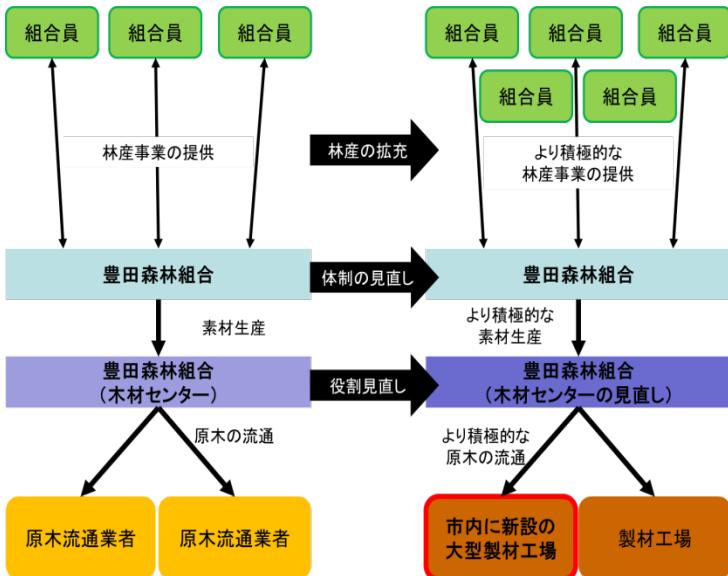


図 林産事業を拡大することによる組合員還元のイメージ

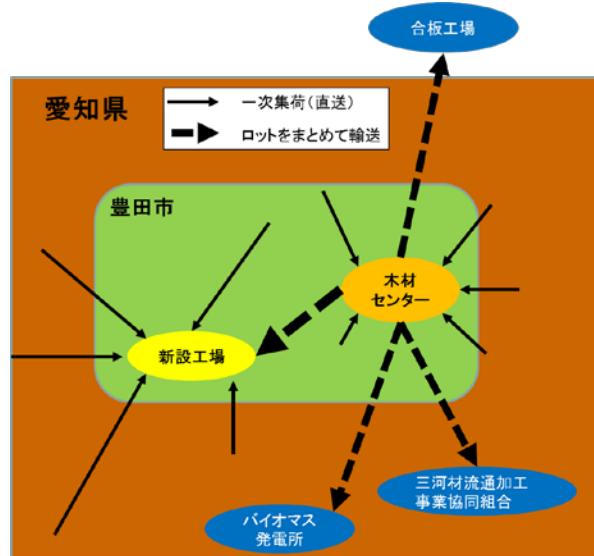


図 平成30年の製材工場稼働までに整備が求められる原木流通のイメージ

## 4. 計画期間中の4つの重点施策・取り組み内容・目標値

### 重点施策1: 素材生産量の増大

#### (1) 目指すべき姿

愛知県、豊田市、愛知県森林組合連合会の期待に応えるべく、素材生産量の増加を図る。素材生産量を増やすことで組合員の森林を管理し、利益を還元。



図 次の3か年の間伐面積目標

#### (2) 目標を達成するための活動内容

- ①本所と支所の役割分担の見直し
- ②人員体制の強化と作業班の増強
- ③機械体制の強化

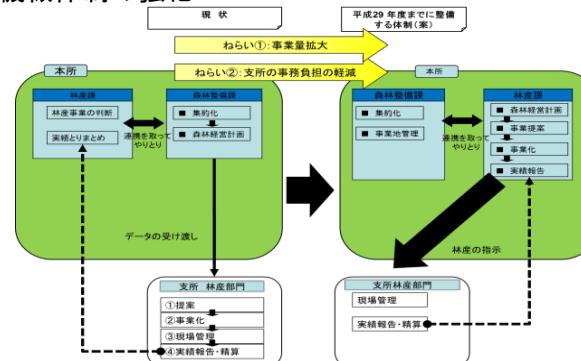


図 平成29年までに整備する体制

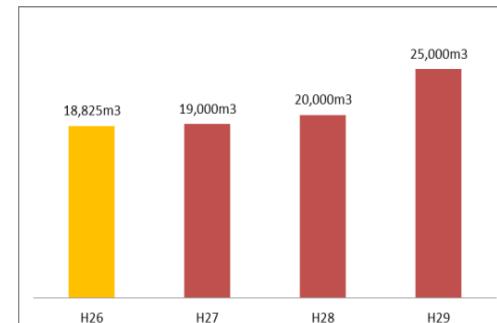


図 次の3か年の林産生産量目標

### 重点施策2: 組合員の山林を継続的に管理

#### (1) 目指すべき姿

将来にわたり組合員の森林の適切な管理を行うための基盤づくり、原木需要に応えるための生産基盤づくり、集約的に作業を行い所有者還元増大を図る。

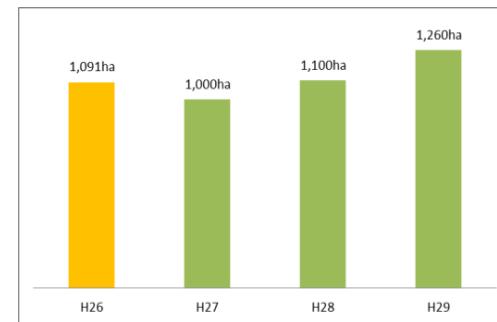


図 次の3か年の森づくり団地形成目標

#### (2) 目標を達成するための活動内容

- ①人員の補強
- ②団地化した森林を確実に施業できる体制づくり

### 重点施策3: 森林所有者への還元が増える原木流通

#### (1) 目指すべき姿

平成30年度稼働の新しい大型製材工場に向けて、現在の木材センターの原木販売方法をみなおすことにより、原木の売り上げができるだけ多く森林所有者に還元。

#### (2) 目標を達成するための活動内容

- ①検討チームの設置と検討

### 重点施策4: 安定した経営基盤の確立のための取り組み

#### (1) 目指すべき姿

原木需要に応えるために、切置間伐事業量(請負、受託を含む)を減少させ、利用間伐事業(請負、受託を含む)を増加させると、組織経営が不安定になるため、組織経営の安定を図りつつ、素材生産量の増加を図るため、受託事業と請負事業のバランスを採る。

#### (2) 目標を達成するための活動内容

- ①利用間伐の人員体制の強化